

新千歳空港アクセス沿道景観形成 ガイドライン



平成24年4月

新千歳空港周辺景観形成推進協議会

背景

北海道は、国内の他地域とは異なる気候風土や歴史をもつ地域です。明治以来の農業や工業など産業においても独自のものが成長してきました。

自然環境についても、雄大な大地や積雪寒冷な気候が北米や北欧に例えられたりしています。

このような背景のもとに北海道は、自然のみならず社会・文化においても独自のものを成り立たせてきたと言えます。

そのことは、広い敷地の中に建ち勾配屋根を持つ住宅、どこまでもまっすぐに伸びる広い道路、雪の中でも深い緑が映える針葉樹、広大な農地とその向こうに見える山々など、独特の景観にも現れています。

しかし、このように独自に育まれてきた個性的な文化が経済活動の流れの中で、地域の特性に関わらず道内どここのまちにおいても同じ様な街並みが形成されるなど没個性化が進展している現状にあります。

このため、地域の個性を引き出し、魅力を高め、誇れる郷土を形づくって行くことが重要となっており、「北国らしい景観形成」を目標として、住民・企業・行政がパートナーシップの形成を図りながら取組を進めています。

目的

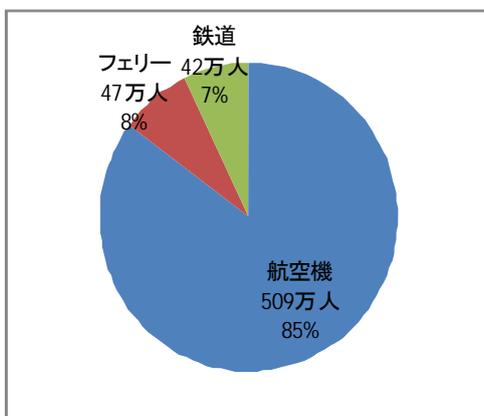
北海道の魅力は何といても豊かな自然です。

国立・国定・道立を合わせた23の自然公園には、変化に富んだ山岳や海浜、原始性豊かな森林、神秘的な湖沼、多様な泉質を持つ温泉など数多く分布しています。

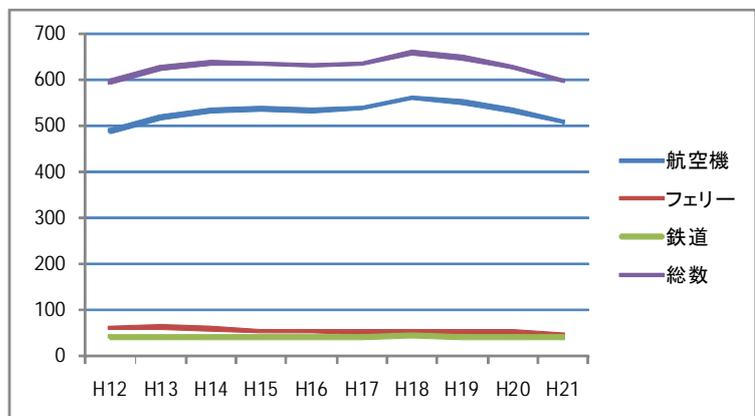
これら豊かな自然景観を期待して観光客の約85%は航空機を利用して来道しており、その比率は上昇傾向にあります。

こうした状況を勘案し、「北国らしい景観形成」を推進するため、広域的な観点から、主要な交通機関の結節点である空港へのアクセス沿道景観の向上を図ることが、重要かつ効果的となっており、これらの推進のため、関連する機関、団体、住民等のパートナーシップ形成を図り、「北海道の顔」と位置付けられる「新千歳空港アクセス沿道景観」の向上を推進します。

平成21年度交通機関別来道観光客数



交通機関別来道観光客数の推移(単位:万人)



基本方針

新千歳空港は、年間約1,700万人が利用する北海道の空の玄関口であり、道内交通アクセスの拠点となっています。

北海道の第一印象の中に、本アクセス沿道景観は大きなウエイトを占めており、今後、スケールの大きい新空港にふさわしい北海道らしさを感じられる景観づくりを目指す必要があります。

また、空港周辺には、国内では他に無い広大な未利用地が広がり、将来の開発の可能性が大きく、そこに賦存する自然景観は貴重かつ重要なものといえ、それらの保全とバランスをとる形での開発が求められています。

このような状況を踏まえて、アクセス沿道景観形成ガイドラインの基本方針を次のとおりとします。

- ・ アクセス沿道を北海道にふさわしい、ひとつの共通のイメージで景観形成を進めます。
- ・ 背景を構成している既存の自然景観の保全に努めます。
- ・ 景観上マイナス要素になっているものの除去や整理、集合化、遮蔽などを進め、周辺景観との調和を図ります。
- ・ 新たな景観の創造を考える場合は、シンプルさとスケール感を重視します。
また、長続きし時間とともに価値が増す景観、四季の変化に対応する景観、遠景が見通せる景観、河川を活かした景観の形成を進めます。
- ・ 動的景観と静止景観の違いを意識し、メリハリのきいた景観形成を進めます。
- ・ 自動車からだけでなく、JR駅、JR車窓からの景観にも配慮します。
- ・ 沿道景観形成上、重要な交差点では、より質の高い景観形成への方向性を打ち出し、関係方面の協力を求めます。
- ・ 景観形成に当たっては、行政・企業・住民のパートナーシップによる方法を模索しながら進めます。
- ・ 屋外広告物については、北海道屋外広告物条例に基づいて、適正な掲出を行うものとし、次のコンセプトにより新千歳空港周辺のイメージアップを図っていきます。

「北の空の玄関口としての広告景観の形成」

- 周辺景観との調和
- 誰にでもわかりやすい表示
- 地域の協力と理解

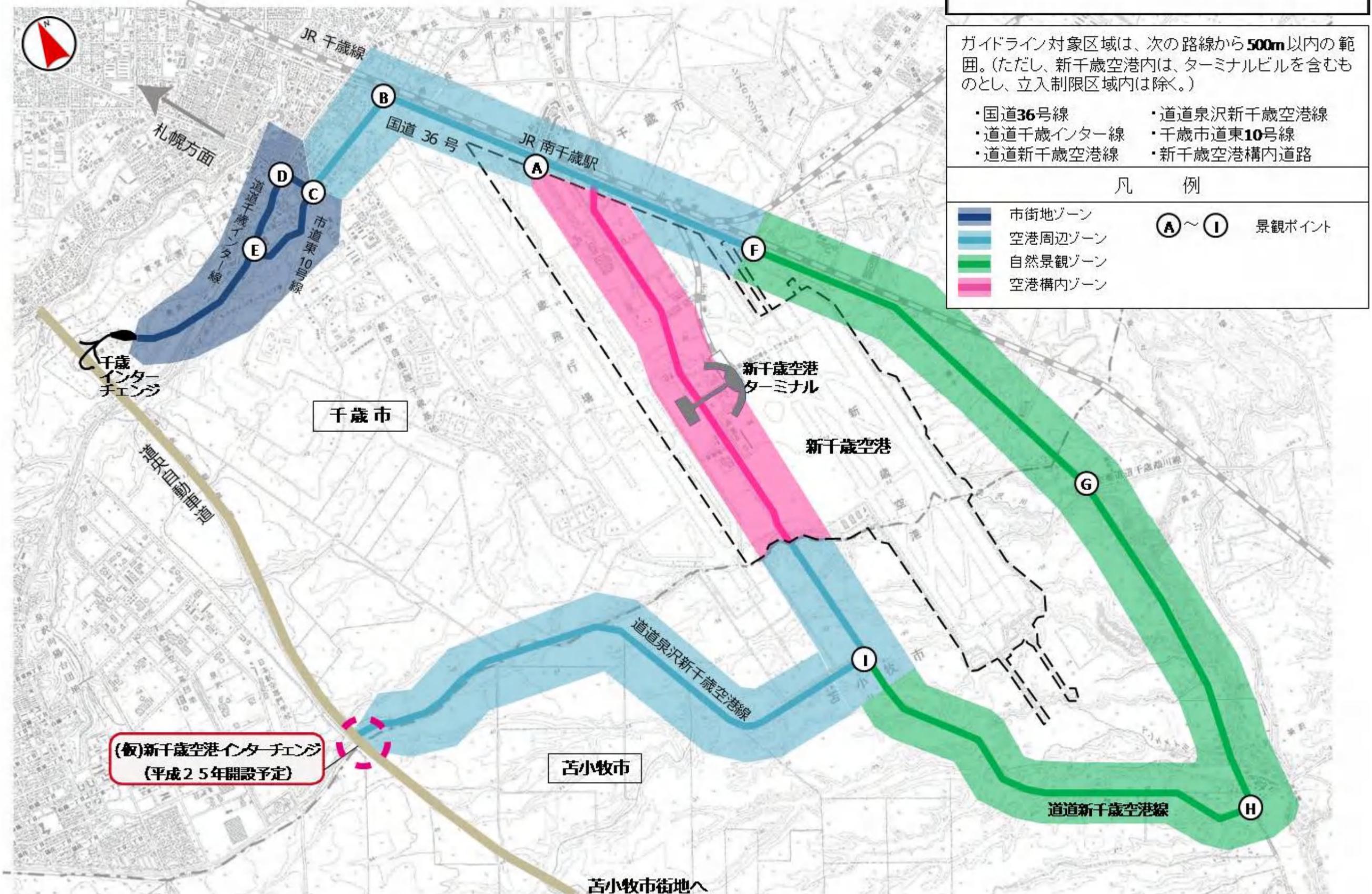
ガイドライン区域図

ガイドライン対象区域は、次の路線から500m以内の範囲。(ただし、新千歳空港内は、ターミナルビルを含むものとし、立入制限区域内は除く。)

- ・国道36号線
- ・道道千歳インター線
- ・道道新千歳空港線
- ・道道泉沢新千歳空港線
- ・千歳市道東10号線
- ・新千歳空港構内道路

凡 例

- 市街地ゾーン
- 空港周辺ゾーン
- 自然景観ゾーン
- 空港構内ゾーン
- ①～⑩ 景観ポイント



※ 高速自動車国道から500m以内の展望区域(用途地域外)は北海道屋外広告物条例の禁止地域となっています。

1 市街地ゾーン

高速道路の千歳インターを出て、国道36号線の自衛隊正門前の交差点までの区間。

街並の両側には樹林が広がり、道道・国道共に多くの街路樹が整備されています。街並は戸建の住宅群の中に中層集合住宅や観光施設などの大型建築物が目立ちます。

ママチ川が道道に沿って流れていて、貴重なオープンスペースとなっています。旧ママチ川は多自然型河川に修復されています。



保全・育成

- ・青葉公園やゴルフ場の樹林は、街並の背景として重要であり、保全に努めます。
- ・緑豊かな道路にするために街路樹を大きく育てる管理を進めます。
- ・多自然型河川に復元した旧ママチ川の保全と、周辺の活用を図ります。

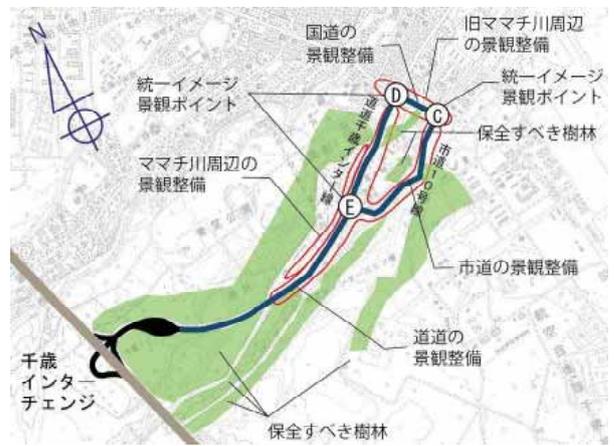
創造・整備

- ・沿道の貴重なオープンスペースであるママチ川の緑化を進めます。
- ・中層住宅やゴルフ練習場など大きな建築物・工作物は、緑化や色彩の調和に努めます。
- ・観光施設などの民間施設は、外周の緑化等により修景に努めます。
- ・沿道の景観向上のため、植樹を進めます。

除去・整理

- ・屋外広告物の掲出に当たっては、配置、規模、色彩等において、周辺景観との調和を図ります。(小看板類の規格の統一化や整理・集合化などを図る。)
- ・ノボリはできるだけ使用しないように努めます。
- ・沿道景観のグレードアップのために、道道の電線の地中化を進めます。





景観ポイント

C 国道交差点（航空自衛隊正門前）

周囲に大きな建物はなく、背後の民地の緑が豊かで潤いのある景観となっています。国道36号線から高速道路千歳インターチェンジへの分岐点としてエンタランス的な交差点です。

保全・育成

- ・中層の自衛隊官舎をさえぎっている樹林帯の保全と育成に努めます。

創造・整備

- ・幅の広い直線道路が終るアクセス道路の結節点で、景観形成上重要な交差点であるため、アクセス道路の統一イメージを印象づける景観整備を進めます。

除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、周辺景観との調和に努め、概ね100Mの範囲には、新たな屋外広告物を設置しないよう指導・誘導に努めます。
- ・信号機、道路交通標識柱等の共架化を進めます。



D 国道交差点（ホテルグランテラス千歳前）

大きなホテルがある市街地景観の中の交差点です。アクセス道路である国道・道道には、ホテルの庭の樹木、道道の街路樹、民地の緑などがあり緑豊かな景観になっています。国道36号線から高速道路千歳インターチェンジへの分岐点としてエンタランス的な交差点です。

保全・育成

- ・緑豊かな景観をなしている街路樹やホテル・民地の樹木の保全と育成を図ります。

創造・整備

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、アクセス道路の統一イメージ形成を図る景観整備を行います。
- ・アクセス道路の北側と東側の沿道には、街路樹の植栽や育成を進め、統一感のある景観形成を図ります。

除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、周辺景観との調和に努め、概ね100Mの範囲には、新たな屋外広告物を設置しないよう指導・誘導に努めます。
- ・信号機、道路交通標識柱等の共架化を進めます。



E 道道交差点（ゴルフ練習場付近）

青葉公園の丘の樹林がアイストップとなり、道道の街路樹や練習場東側の植栽によって、緑豊かな緑を感じる交差点です。屋外広告物や電柱類が乱雑な印象を与えています。

保全・育成

- ・アイストップになっている背景の樹林の保全と、街路樹の適正な育成管理を図ります。

創造・整備

- ・大きな構造物の堅さを和らげるため、練習場の北側(道道側)への植栽を進めます。

除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、周辺景観との調和に努め、概ね100Mの範囲には、新たな屋外広告物を設置しないよう指導・誘導に努めます。
- ・信号機、道路交通標識柱等の共架化を進めます。



II 空港周辺ゾーン

< 自衛隊正門前～早来分岐点前 >

国道36号線の自衛隊正門前から南千歳を過ぎて早来へ分岐する交差点までの、見通しの良い直線道路の区間。ほとんどが市街化調整区域で、自衛隊敷地と新千歳空港によって占められています。

東側にはJR線が平行して走り、その東側に広葉樹林、国道北側に広葉樹林、自衛隊飛行場の北側に針葉樹林があり、良好な景観が広がっていますが、近景にはフェンスや看板が目につく部分もあります。



< (仮称)新千歳空港IC～新千歳空港 >

建設中の(仮称)新千歳空港インターチェンジから新千歳空港までの道道区間。千歳市と苫小牧市との行政区界の付近を通っており、全域が市街化調整区域で緑豊かな沿道景観が続きます。

その中に駐車場が点在しています。



保全・育成

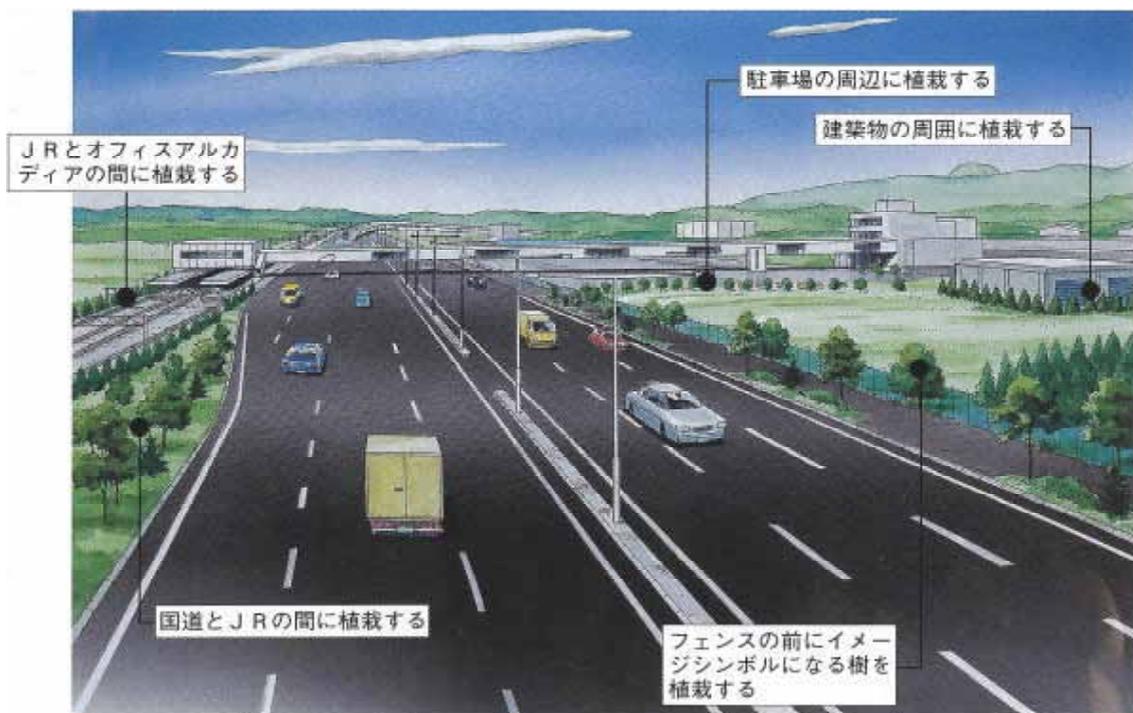
- ・街路樹が多数植栽されており、これらの管理育成に努めます。

創造・整備

- ・アクセス沿道景観の統一イメージをつくるための、国道路傍への既存緑化樹木の補植を進めます。
- ・自衛隊のフェンスが国道、JRからの景観として目立つ存在で連続しているため、周辺景観との調和を図ります。
- ・オフィスアルカディアとJRとの間への植樹帯の整備をすすめます。
- ・工事事務所等の仮設物は、周辺景観との調和を図ります。

除去・整理

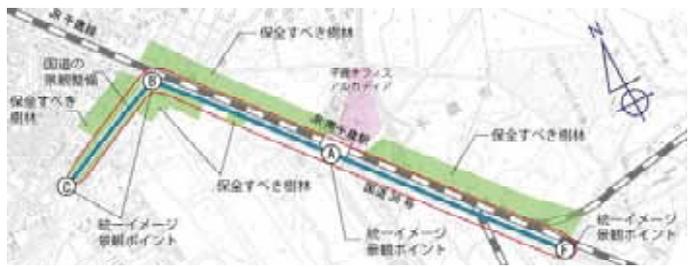
- ・沿道景観のグレードアップのため、自衛隊正門とJR高架の交差点の間の電線類の地中化を進めます。
- ・屋外広告物の掲出に当たっては、配置、規模、色彩等において、周辺景観との調和を図ります。(小看板類の規格の統一化や整理・集合化などを図る。)
- ・ノボリはできるだけ使用しないように努めます。



景観ポイント

A JR南千歳駅周辺

多くの建築物が集中している地点、東側には業務団地オフィスアルカディアが形成されています。



保全・育成

- ・東側に現在残っている自然樹林の保全に努めます。

創造・整備

- ・オフィスアルカディアと駅との間に景観に配慮した植樹帯の整備を進めます。
- ・国道と駅との間に景観に配慮した緑化修景を進めます。

除去・整理

- ・街路樹の育成管理によるJR付帯の施設等の緑化修景を進めます。
- ・景観形成上、重要な地点であるため、屋外広告物の掲出に当たっては周辺景観との調和に努めます。



B 国道交差点（JR高架付近）

交通量が多く信号待ちをする車が多く、JRの車窓からも見える位置にあり、アクセス道路の景観形成上重要な交差点です。

保全・育成

- ・交差点の背景を形づくっている樹林の保全に努めます。
- ・交差点北西角地に植栽されている低・高木の育成管理を進めます。

創造・整備

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、統一イメージづくりの景観形成ポイントとします。

除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、周辺景観との調和に努め、概ね100Mの範囲には、新たな屋外広告物を設置しないよう指導・誘導に努めます。
- ・信号機、道路交通標識柱等の共架化を進めます。



F 国道交差点（早来への分岐点）

長い直線道路が続いた後の交差点で、節目として景観上重要な地点です。

保全・育成

- ・街路樹の管理・育成を進めます。

創造・整備

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、アクセス道路の統一イメージを形成する景観整備を進めます。
- ・工事用事務所などの仮設物が周辺景観と調和するよう誘導に努めます。

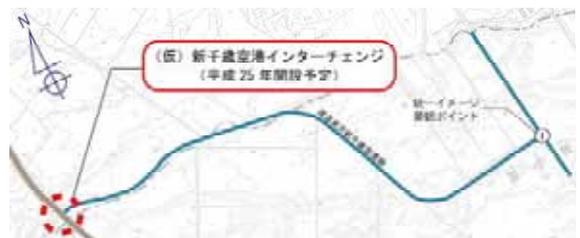
除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、周辺景観との調和に努め、概ね100Mの範囲には、新たな屋外広告物を設置しないよう指導・誘導に努めます。



I 道道交差点（泉沢新千歳空港線と新千歳空港線との交差点）

新千歳空港と(仮称)新千歳ICとを結ぶ道道のT字交差点です。交通安全上の標識や新千歳空港などの案内看板がある状況です。



保全・育成

- ・植栽の育成管理に努めます。

創造・整備

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、アクセス道路の統一イメージを形成する景観整備を進めます。

除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、屋外広告物の掲出に当たっては周辺景観との調和に努めます。



自然景観ゾーン

国道・道道の苫小牧方面へのアクセス区間。

大部分を自然樹林と湿地の間を通り、緑豊かな沿道景観が続きます。

その中に看板類や駐車場、プラントが点在しています。



保全・育成

- ・景観的にも優れた地域特有の自然景観の保全に努めます。

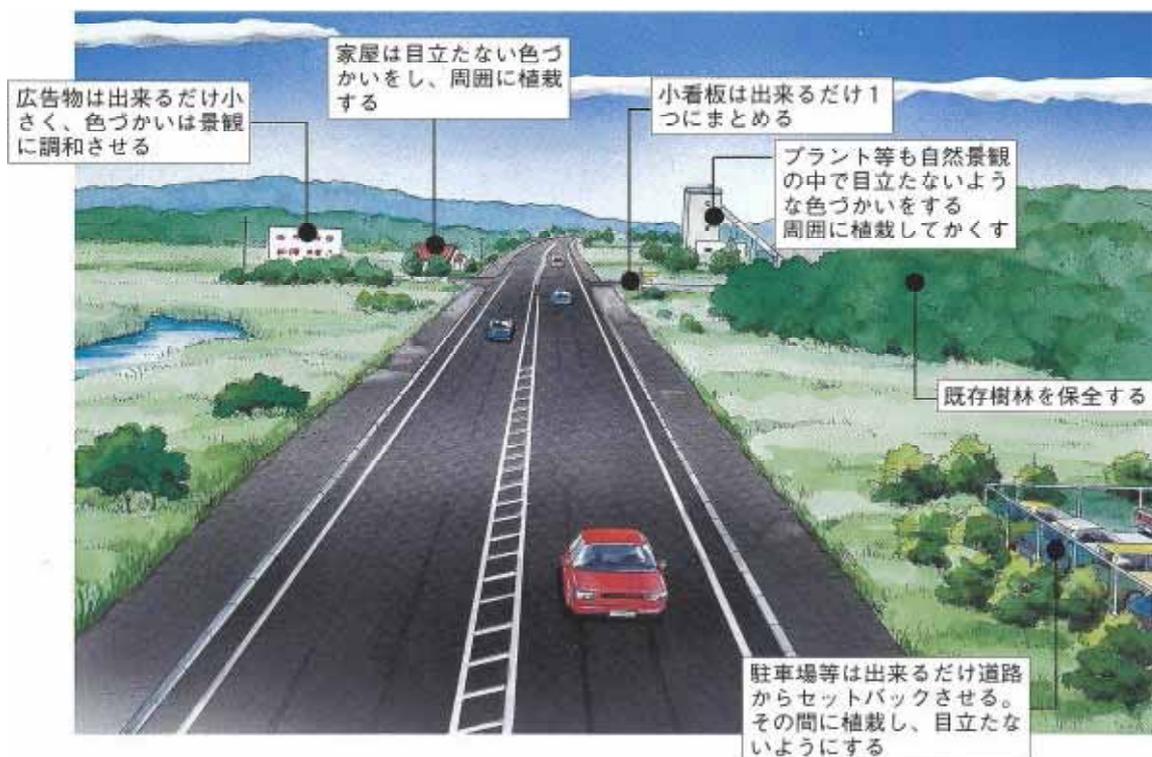
創造・整備

- ・景観上問題のある要素については、緑化や色彩等による周辺景観との調和を図るよう誘導します。
- ・自然景観に調和した開発行為等の誘導を進めます。

除去・整理

- ・屋外広告物の掲出に当たっては、配置、規模、色彩等において、周辺景観との調和を図ります。(小看板類の規格の統一化や整理・集合化などを図る。)
- ・ノボリはできるだけ使用しないように努めます。
- ・屋外広告物の照明は、点滅させないなど野生動物への配慮に努めます。

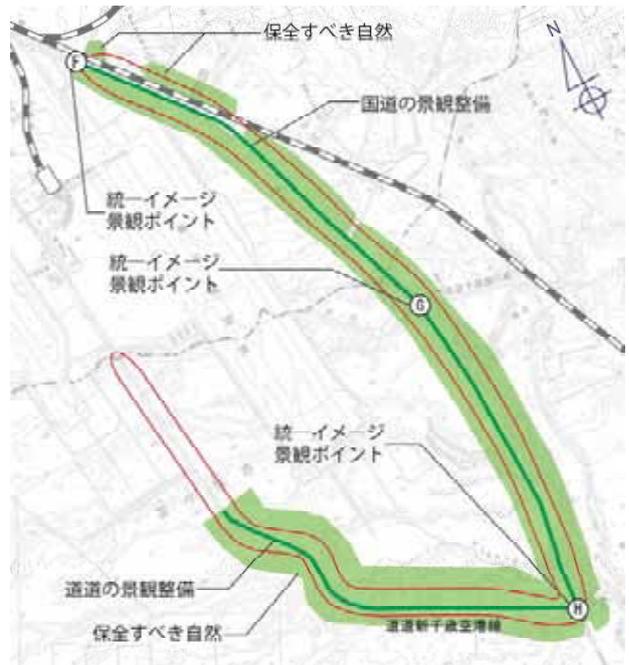
光害対策ガイドライン(H18・環境省)参照



景観ポイント

G 国道交差点（御前水の分岐点）

自然景観の中を長く通過した後の交差点で、周囲は豊かな樹林に囲まれています。ガソリンスタンドや店舗・看板類が目立ちます。



保全・育成

- ・背景になっている周囲の既存樹林の保全に努めます。

創造・整備

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、アクセス道路の統一イメージの形成に努めます。

除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、屋外広告物の掲出に当たっては周辺景観との調和に努めます。



H 国道交差点（道道との交差点）

空港からの道道が国道と交差する景観上重要な地点です。自然景観の中の交差点ですが、アイストップの部分に看板類の乱立が目立っています。

保全・育成

- ・背景にある自然環境の保全に努めます。

創造・整備

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、統一イメージの形成に努めます。

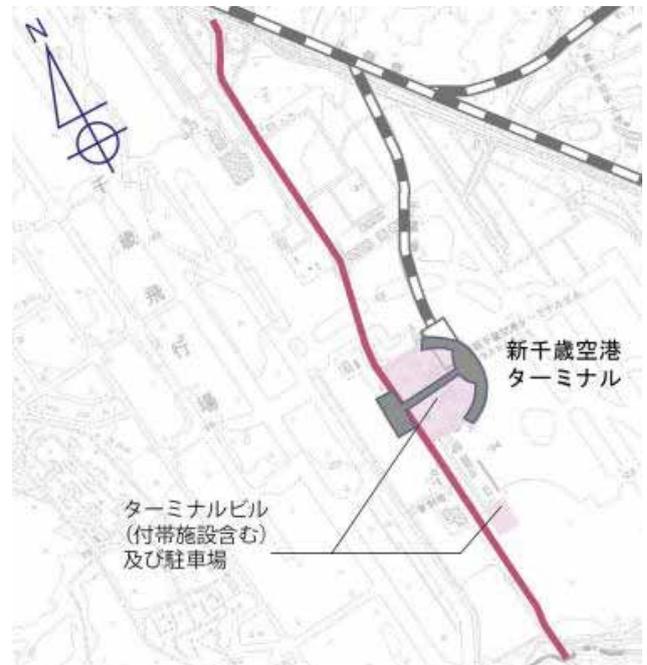
除去・整理

- ・景観形成上、重要な交差点であるため、屋外広告物の掲出に当たっては周辺景観との調和に努めます。



空港構内ゾーン

新千歳空港ターミナルビルや駐車場を含む空港構内道路の区域。
 空港ターミナルビルを中心として多くの建造物が集中し、空港景観を形成しています。



保全・育成

- ・ 空港構内の樹木の保全に努めます。

創造・整備

- ・ 北海道の空の玄関口にふさわしい空港景観の形成に努めます。

除去・整理

- ・ 屋外広告物の掲出にあたっては、配置、規模、色彩等において、周辺景観との調和を図ります。

< 空港ターミナルビル(付帯施設含む)及び駐車場内 >

- ・ ノボリ、立看板は、掲出しません。
- ・ 地上広告物は、屋根付き通路内のみ掲出できるものとします。
 (ただし、自家用広告物の場合は屋根付き通路内以外も掲出できるものとする。)
- ・ 屋上広告物は、空港ターミナルビル連絡施設のみ掲出できるものとします。
- ・ 屋上広告物及び壁面広告物のデザイン及び表示内容は、空港の美観、風致に配慮することとします。



< その他区域(空港ターミナルビル(付帯施設含む)及び駐車場内を除く地域) >

- ・ 自家用広告物のみ掲出できるものとします。



(空港ターミナルビル屋根付き通路)



(空港ターミナルビル連絡施設)

景観形成のための基準

景観構成要素		市街地ゾーン	空港周辺ゾーン	自然景観ゾーン
みどり	緑地 街路樹	<ul style="list-style-type: none"> ・既存樹木の保存に努める ・街路樹・植樹の適切な育成管理に努める ・アクセス沿道の統一イメージを形成する植栽を進める 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然樹木の保全に努め、できる限り樹木の伐採を行わないように努める ・万一伐採が避けられない場合は、伐採後、速やかに周囲の樹林と同一の植栽による復元に努める ・新たに植栽する場合も周囲にある樹種による植栽を行うよう努める
	防風林 森林 公共 花壇	<ul style="list-style-type: none"> ・うるおいとまとまりのある街並を形成するため、積極的な修景緑化に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケールの大きい景観に調和する群としての緑の創成に努める 	
未利用地	空地 荒地	<ul style="list-style-type: none"> ・景観的にマイナスイメージを与えないように、緑化に努め維持管理に努める 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観の中で違和感が無いように自然植生による復元に努める
公園	公園 広場	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や河川に付帯した憩いの空間の創成に努め、景観向上のための修景に努める 		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然環境に配慮するように努める
	街路	幹線道路	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路は適正な維持管理を行い、安全と景観の保持に努める 	
	生活道路	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路は人と車の共存する道路づくりに努める 		
交差点	交差点	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成上、重要な交差点には、アクセス道路の統一イメージの形成を図る景観整備に努める ・交差点付近にある小看板類の整理や集合化に努める 		
水	河川 用水路 沼・湿地	<ul style="list-style-type: none"> ・道路と河川の一体的な活用によって北海道らしい沿道景観の形成に努める 		
フェンス	生け垣 塀	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のフェンス類は適切な維持管理に努めるとともに、道路側に対してはできるだけ樹木等での修景に努める ・新たに設ける際には、できるだけ道路からの後退・高さの抑制・使用する材料や色彩等の周辺景観との調和に努める 		
	木柵	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住宅においては、できるだけ生垣とするように努める 		
建物 (住宅・ 生産施設 ・倉庫)	<位置>	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地の許す範囲で、できる限り道路から後退した位置にし、道路沿いの空間の確保に努める ・隣接する敷地の境界から、できるだけ離れた位置にし、隣接相互に空間の確保に努める 		<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り道路からの後退や既存林の保全に努める
			<ul style="list-style-type: none"> ・遠景である樽前、風不死の山並みとの調和に努める 	
	<意匠・形態>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における景観のまとまりを保つことに配慮するよう努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の景観のまとまりを考慮すると共に、遠景との調和を図るよう努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然景観との調和を図り、できるだけ規模を抑えるよう努める
		<ul style="list-style-type: none"> ・平滑で大きな壁面が生じる場合は、壁面の処理を工夫し、周辺の景観との調和に努める ・車庫やオイルタンク等の付属物は、できるだけ建物の中に取り込む、又は景観との調和に配慮した意匠とするよう努める 		
	<材料>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料は、耐久性に優れ、退色・剥離等が起こりにくいものを用いるよう努める ・材料は周辺の景観と調和のとれるものを用いる、特に緑との調和に配慮するものとする 		
<色彩>	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁・屋根の色彩は、周辺の自然の緑と調和するものを用いるなど、敷地内における工作物及び屋外広告物を含め、色調を統一し、多色の利用を避けるよう努める ・隣接する建築物や工作物とも、色調の統一や調和に努める ・季節の変化による自然の色彩の変化との調和に努める 			

景観構成要素		市街地ゾーン	空港周辺ゾーン	自然景観ゾーン
構造物	橋・高架道路・横断歩道橋	<ul style="list-style-type: none"> ・形態や色彩は周辺の景観に調和したものとするよう努める ・周辺への修景緑化によって、景観との調和を図るよう努める 		
	電柱・NTT柱・鉄道桁・橋脚・モニュメント・擁壁	<ul style="list-style-type: none"> ・形態や色彩は周辺の景観に調和したものとするよう努める ・周辺への修景緑化によって、景観との調和を図るよう努める 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・電柱・NTTの電線類の地中化に努める ・電柱・NTT柱・道路交通標識等の共架化を進める 		
その他	ゴミ置場 駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺からできるだけ見えないように、敷地の境界からの後退に努める ・既存のものを含め、周辺を樹木等で被うなどの処置を施すように努める 		
	自動販売機 設置	<ul style="list-style-type: none"> ・道路からできるだけ後退した位置に設置するよう努める ・設置に当たっては、景観への配慮に努める ・空カン・ゴミ等の飛散防止に努める 		

景観構成要素		市街地ゾーン	空港周辺ゾーン	自然景観ゾーン	空港構内ゾーン
屋外広告物	地上広告物 屋上広告物 壁面広告物 立看板 パネル ポスター 電柱広告物	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物の形状・色調・意匠は、周辺の景観に調和したものとする (具体例 ~ 色調は、派手な色彩を避け、周辺景観との調和に配慮する) ※周辺景観との調和したデザイン例はP14を参照 ・材質は堅牢なものを使用し、汚れ、退色、破損等により、景観を阻害しないように努める (具体例 ~ 汚れ、退色が目立つものは塗り直しを行う ~ 破損しているものは、危険となるので撤去、修復を行う) ・交通安全上の配慮をする (具体例 ~ 信号や道路標識の視認を阻害しない ~ 走行車両から見て案内標識と重ならないように配慮する) ・外国人観光客に配慮し、案内用広告物にはピクトグラム(絵文字)や英語等の表記に努める ※ピクトグラムの例はP15を参照 			

ガイドラインの運用

新千歳空港周辺の良い景観を形成するため、地域住民、事業者、行政機関などが共通の意識をもって、相互に協力して取組を進めることが大切です。

ガイドラインの普及啓発

関係機関は各自の所管業務において、ガイドラインの普及啓発を行います。

ガイドラインに基づく協力要請

北海道、千歳市及び苫小牧市は、屋外広告物の掲出等に当たっての相談窓口として、ガイドラインに基づく協力を要請します。

ガイドラインの取組の推進

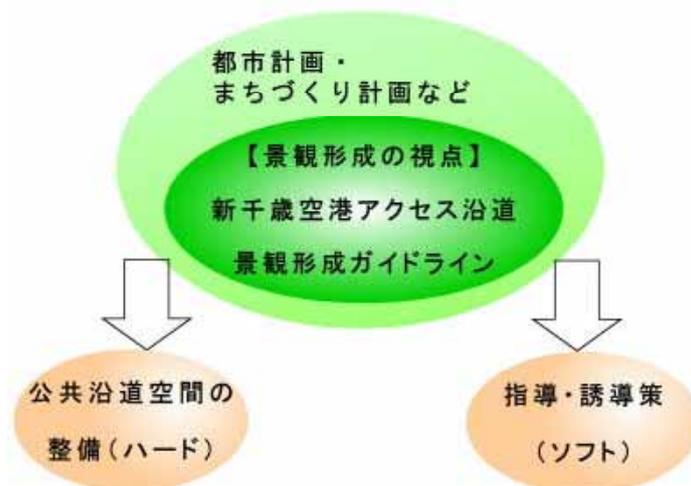
ガイドラインに基づく取組の推進や課題については、地域の関係機関による対策会議を設置し、対応していくこととします。

構成機関 ~ 北海道、千歳市、苫小牧市、その他関係機関(道路管理者等)

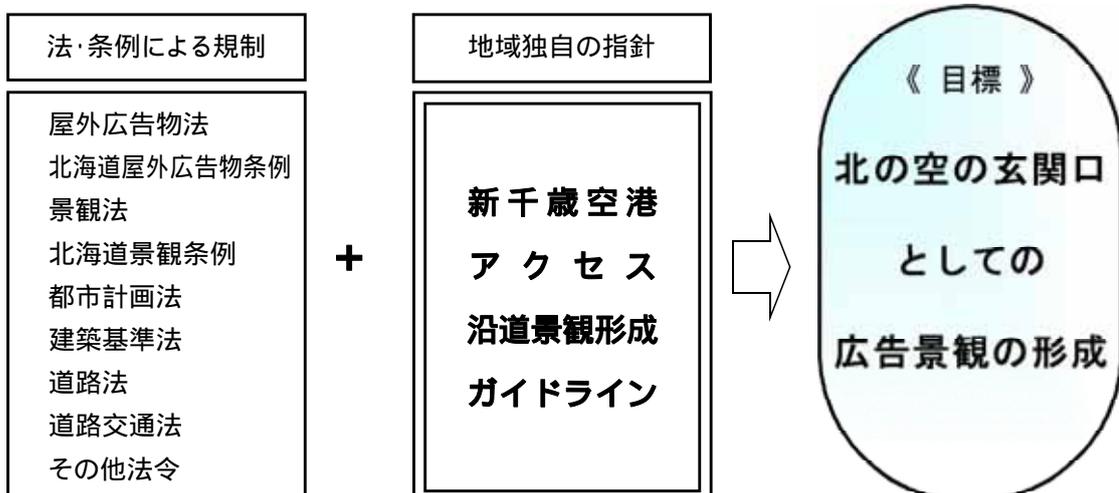
ガイドラインの賛同団体

ガイドラインの実効性をより高めるため、ガイドラインの趣旨にご理解をいただいた地域の関係団体につきましては、賛同団体として登録させていただきます。

景観形成の推進イメージ



屋外広告物の取組イメージ



周辺景観と調和した屋外広告物の例示

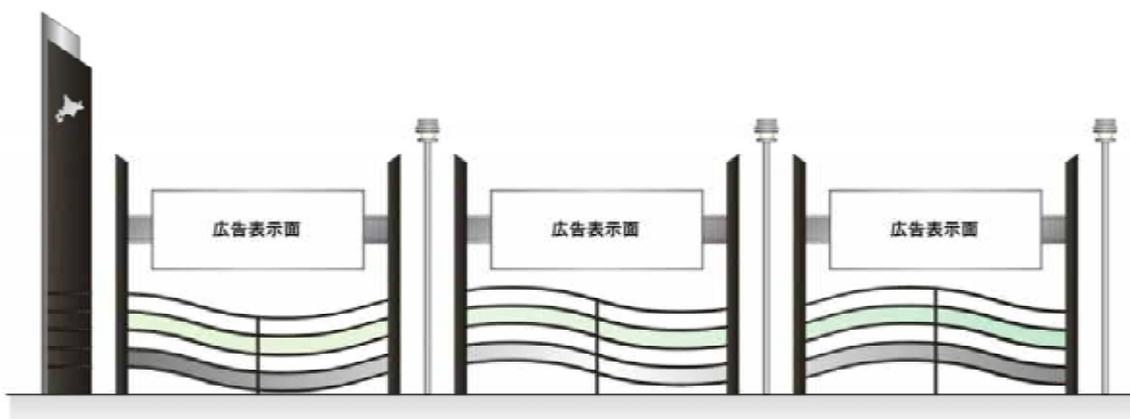
【 サイン案 Ⅰ 】

複数の案内広告物を整理・集合化し、
周辺景観との調和を図る。



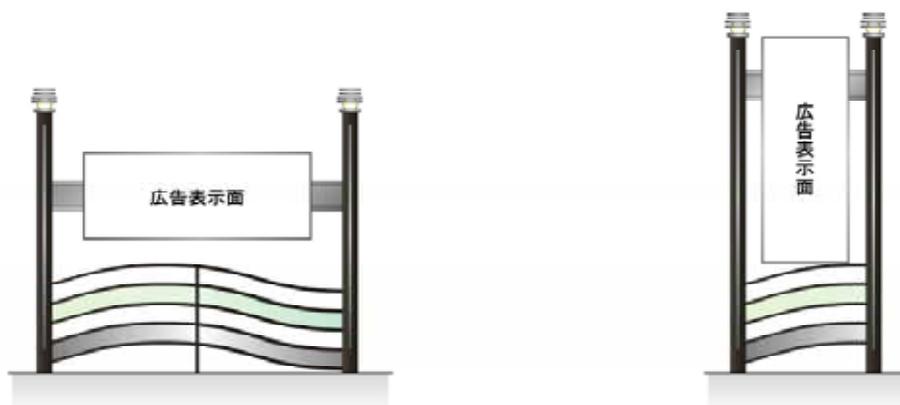
【 サイン案 Ⅱ 】

複数の屋外広告物の色調、装飾を統一する事で周辺景観との調和を図る。



【 サイン案 Ⅲ 】

独立サインとして設置する場合も他のサインと色調、装飾を統一する事で新千歳空港
周辺全体としてまとまった印象を与える。



サインの支柱等の色は、周辺景観との調和に配慮しダークブラウン（こげ茶）とし、具体的には、国道等の景観に配慮した防護柵で基本となっている標準マンセル値10YR2.0/1.0を参考とした。

主なピクトグラムの一覧

【公共・一般施設 Public Facilities】



【交通施設 Transport Facilities】



【商業施設 Commercial Facilities】



【観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities】



新千歳空港アクセス沿道景観形成ガイドライン

発行 平成 9 年 3 月

改訂 平成24年 4 月

新千歳空港周辺景観形成推進協議会

北海道開発局、東京航空局新千歳空港事務所
千歳市、苫小牧市
一般社団法人北海道屋外広告業団体連合会
協同組合北海道ネオン電気工業会
北海道電力株式会社
株式会社NTT東日本 - 北海道
北海道空港株式会社、北海道(事務局)

(問い合わせ先)

事務局 北海道建設部都市計画課

〒060-8558 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111 内線29-827・829

(千歳市管内相談窓口)

千歳市企画部まちづくり推進課

〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

TEL 0123-24-3131 内線301・321

石狩振興局産業振興部建設指導課

〒060-8558 札幌市中央区北3条西7丁目

TEL 011-231-4111 内線34-473・476

(苫小牧市管内相談窓口)

苫小牧市総合政策部まちづくり推進課

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6111 内線2862

胆振総合振興局室蘭建設管理部建設指導課

〒051-0022 室蘭市海岸町1丁目4番1号

TEL 0143-24-9595(直通)

< 改訂に当たって >

今回の改正は、(仮称)新千歳空港ICの供用開始に伴う新たなアクセス道路や空港敷地内で屋外広告物の掲出が見込まれるため、新千歳空港アクセス沿道景観形成推進協議会(学識経験者、北海道開発局、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、NTT北海道支社、(財)千歳市公園緑化協会、千歳市、北海道により構成)の一部構成機関を見直し、協議検討を行いました。

今後、周辺状況や社会情勢等の変化によりガイドラインの見直しが必要となった場合には、新千歳空港周辺景観形成推進協議会で協議検討を行います。

